



京都地方裁判所

市の顧問弁護士を私的裁判に使うことは疑問

創政会 早川雅映

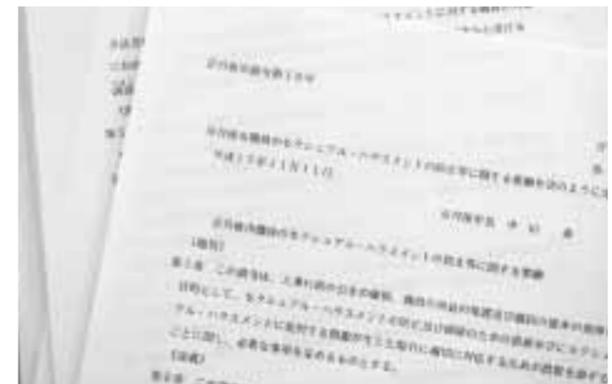
問 私は京丹後市は衝突コースに入ったのではないかと感じていて。組織改革案も対応療法にしか見えず、これからの時代に対応できる行政のあり方、職員の方を模索した体質改善としての取組

があまりにも少ない。また、市長と市民、職員、職員間の信頼関係が崩れてしまっているように感じる。力のあるものが押さえつけられるという方法ではなく、きちんと事実を見据え、改めるべきは

改め、失われた信頼を回復してゆくしかない。市の顧問弁護士に市長の個人的セクハラ裁判を依頼したことに大きな違和感を持つ。

市長 この件は倫理が特に問題になるようなことではなく制度として可能かどうかだ。

市民への反訴は職員との信頼関係に悪影響が
問 市長が反訴直前に発行したセクハラ防止要綱で「セクハラを受けたという人が職場にいざうらくなったりプレッシャーを受けるような行為はしてはいけない」とある。非常に強い立場にある市長から市の顧問弁護士を使



京丹後市職員セクハラ防止要綱

「官から民」の弊害の教訓は 市長行政責任はきちつとふまえる

日本共産党 平林 智江美

問 耐震強度偽装されたホテルが京丹後市にもあるということが報道され、周辺住民から不安の声があがっている。今後の対応は。

市長 府の審査委員会が12月10日に現地調査に入り、中旬の検討

市長 は、行財政改革のなかで「官から民」を強調し、聖域をもうけず、民の導入を言われるが、今回の耐震偽装事件の「官から民」への弊害を教訓にすべきではないか。

50万円のわいろはどへ
問 有田元弥栄町長の収賄事件の50万円について、市長は「応援いただいた政党関係者に・・・」といわれたが、私の調べた所自民党の支部長などは「受け取っていない」と言っている。いったいどこへ渡ったのか市長の責任で明らかにすべき

市長 「応援いただいた政党関係者に・・・」という発言は軽率であった。再々度確認するなかで、そういった事実にはなかつた。

高齢者にも人間ドックの補助を 市長検討したい

日本共産党 松田成 溪

人間ドック
問 人間ドック（脳ドックも）の補助対象は40歳以上65歳未満とされている。そのため、高齢者には非常に受けにくい制度となっている。（40歳以上65歳未満は3割負担、65

歳以上は10割負担）もっと高齢者が受けやすい制度にすべきだ。
市長 他市の状況もよく見ながらいろいろ検討していきたい。

大型クレーン対策
問 全国的な問題なので国や府へも強く支援

職員の前減計画
問 経済財政諮問会議（議長小泉首相）が最

を要請してほしい。また、市としても独自の支援を。一番望まれているのは共済掛金の補助だ。
市長 京都府にもいろんな要望をしているところだ。18年度の予算編成に向け、本市として何ができるのか、防止対策ということになる面があるかと思うが、よく検討したい。



大型クレーンで休業がつづく定置網漁

裁判、行政運営で公私混同はないか 市長検証してないが なかつたと思う

日本共産党 森 勝

問 職員のセクハラ防止等に関する要綱はできていたが、市長・助役のセクハラ行為があった場合はどうなるのか、より厳しいものがあるのか。

市長 対象とならないのが当然自からがより

問 職員のセクハラ防止等に関する要綱はできていたが、市長・助役のセクハラ行為があった場合はどうなるのか、より厳しいものがあるのか。

市長 当然であり、自覚を持って臨む必要があると思うが、どうか。

問 裁判における市長の答弁書は、原告の髪をさわったこと以外は、検察庁の言っている嫌疑不十分すら全面否定しているが、事実は今後明らかになるであろう。

問 裁判における市長の答弁書は、原告の髪をさわったこと以外は、検察庁の言っている嫌疑不十分すら全面否定しているが、事実は今後明らかになるであろう。



水洗化できれいな川を

市長 不法な事実はないというのを見て取って頂けるものと思っ

河川下水整備について 計画的な修復が必要計画はないのか。

合併浄化槽で水洗 区域の設定がされてい

地球温暖化について 異常気象は地球温

削減を支援してい

市長への信頼回復、具体的な対応は 市長引き続き懸命に、市政の推進に努める

市長 災害の度毎に改善することもあるが、総合的な視点を持ちながら、全面的な工夫改修も検討していきたい。

市長 下水道の認可をとっている区域では、7年間で下水道が整備完了になることから、浄化槽の補助金はな

市長 地球温暖化の問題・廃棄物対策の問題も国としてまた地域として解決していく重要な課題である。

問 合併が、住民の理解を得ることができたのは、分散合併という周辺部に配慮したことによるものであり、今後農業振興を図るには、農林部を久美浜へ移設すべきだ。

問 地域審議会を設置して、協定書の見張り番的役割をするとなっていたが、現状は、企画政策部長 この会は市長の諮問機関であるため、要請がなければ

問 国・府事業推進を図る対策 市の建設費削減に伴い、国や府の事業を推進するため、用地交渉専属担当者の必要を

問 農業集落排水事業の開始はいつなのか。 上下水道部長 佐濃地区は18年度着工予定、川上・海部地区の計画は25年度になっていくが審議会に諮って進められる。

問 実施計画を示し住民の理解を得るべきだ。



農業集落排水事業も整備が急がれる

分散合併の根幹に関わりかねない農業委員会の移転は

市長 農林部と農業委員会を同じ場所に

問 この会で見張りをしているのか。 企画政策部長 現在では、まだ建設計画の説明は行っていない。

問 下水道事業の公平性 上下水道部長 効率面で集合型の計画だが、地区の要望であれば変更の可能性もある。

着工は困難と考える。待ちきれずに浄化槽設置した家庭は、自己負担での撤去が粉碎の上りめ戻しが義務付けられている。公平が保たれていない。



戦時中は人命を救ったが今は危険な防空壕

問 水田における生産調整「転作」が、昭和45年から始まり、今年で35年目となる。その弊害が徐々に現れてきて、このままではこのような生産調整の仕組は続かないという認識を農業者だけでなく、行政当局、それに

問 水田における生産調整の今後は 市長 19年度から農業団体の皆さんで考えていただく

問 危険な戦時中の防空壕 60年前の昭和20年8月、日本は戦争に敗れ終戦を迎えた。京

丹後市内にはその当時、軍の飛行場があり、軍用の防空壕もいくつかある。戦時中は人命を救った防空壕も、今は危険箇所となり、今年4月に鹿児島市において中学生4人が一酸化炭素中毒で死亡する事故が発生した。京丹後市において事故防止の対策は、

総務部長 事故が発生しないよう看板、柵を設置して進入防止措置をとっている。

市長 19年度から農業団体の皆さんで考えていただく

問 雇用創出計画の取り組み、技術者養成 希望を頂いている。

問 事業と研修終了後の雇用状況は。 商工観光部長 ものづくり達人養成事業は、国のいう地域提案型雇用創出促進事業で、新規産業の開拓を図り、地域での雇用創出を図ることを目的として実施するものである。第一期生が12月に講習を終了し、修了者の就職の見込みは、丹後機械工業組合の企業数社から研修修了者に採用希望を頂いている。

問 網野町の水がめである府下最大の淡水湖、離湖の水質が年々悪化し、水道水源としての使用が困難な状況と危惧しているが、現在ではどのような状況か。

市長 水質検査によると、50項目の検査中7項目が基準外数値になっている。水道原水としては、高橋井戸、福田川と離湖の混合水であり、この水質については、50の検査項目中4項目が基準外の数値で、処理した水道水は全項目基準値内

問 地域再生計画による「豊かな自然環境のまち」再生計画について、進捗状況と今後5年間の取り組みは。 市長 現在進めている下水道事業、集落排水事業、浄化槽整備事業

をそれぞれの事業とせず、一事業としての交付金を内閣府から受け、事業を推進していく制度であり、計画の取り組みは平成21年に汚水処理普及率を現在の47%から70%に拡大、下水道は久美浜、網野の一部、市設置型浄化槽は久美浜の一部、個人設置の浄化槽は全市での事業として取り組む予定である。

問 事業と研修終了後の雇用状況は。 商工観光部長 ものづくり達人養成事業は、国のいう地域提案型雇用創出促進事業で、新規産業の開拓を図り、地域での雇用創出を図ることを目的として実施するものである。第一期生が12月に講習を終了し、修了者の就職の見込みは、丹後機械工業組合の企業数社から研修修了者に採用希望を頂いている。



水道水源の離湖（網野町）

地域再生計画が認定されたが

市長 汚水処理普及率が47%から70%に

で問題ない。また、水道水として安全な給水をするために、小浜浄水場施設の全面改修について平成18年度に調査を行い、平成21年度に完成予定である。

問 地域再生計画による「豊かな自然環境のまち」再生計画について、進捗状況と今後5年間の取り組みは。 市長 現在進めている下水道事業、集落排水事業、浄化槽整備事業

をそれぞれの事業とせず、一事業としての交付金を内閣府から受け、事業を推進していく制度であり、計画の取り組みは平成21年に汚水処理普及率を現在の47%から70%に拡大、下水道は久美浜、網野の一部、市設置型浄化槽は久美浜の一部、個人設置の浄化槽は全市での事業として取り組む予定である。

問 事業と研修終了後の雇用状況は。 商工観光部長 ものづくり達人養成事業は、国のいう地域提案型雇用創出促進事業で、新規産業の開拓を図り、地域での雇用創出を図ることを目的として実施するものである。第一期生が12月に講習を終了し、修了者の就職の見込みは、丹後機械工業組合の企業数社から研修修了者に採用希望を頂いている。



本を読む楽しさを

問 技術革新が早く、国際的な競争の激しい中で、一生涯続けなければならぬ時代であり、幼児期から本に触れることが大切である。旧町で取り組まれていたブックスタートは必要ではないか。

教育長 読み聞かせが入り口であり、ブックスタートは大切な運動だ、本を渡す意義を母親に伝え、理解していただくことが重要。

保健福祉部長 網野・大宮・峰山では4カ月検診時にボランティア

読書の推進と子育ての支援を

市長 ▼ 読書は大切、子育て支援は二一歩を踏まえて

丹政会 大同 衛

問 法律で定められている子どもの読書活動推進計画の策定や、子ども読書の日、学校での読書の取り組みは、教育次長 計画策定は今後の課題であるが、子ども読書の日に、市立図書館で重点的に取り組んでいる。

教育長 10分間の朝

問 読書の時間が、読書習慣の形成や始業時の心の落ち着きなど効果的・教育的であり、ほとんどの小中学校で定着させている。読書は心の成長に必要なである。

問 子育て世代の就業環境はパート率の上昇など厳しく、共働きがほとんどだが、保育ニーズへの対応は、また、観光・商業従事者も多く、休日保育・病後児保育を早急に。

保健福祉部長 家庭環

による読み聞かせを実施し、読み方語り方の指導や読書の重要性を伝えていただいている。なお、久美浜は検討中。

問 今年度実験的に運動施設の無料開放デーを実施された。課題と今後の方針はどうか。

教育長 初めての試みで500人ほどの参加があった。特にニユースポーツの振興に期待し、今後も続けたい。

問 境や就労状況の変化から0〜2歳児の保育需要が急速に高まっている。休日保育は5年間の計画で6カ所。病後児保育は難しい。

問 尼崎市は公立では費用がかかりすぎるため、多様な保育ニーズに対応する保育所は民営化して要望に添えているが、市長の考えは。

市長 一部保育所の民営化も考慮して、多様なニーズに対応する計画を策定したい。

問 市の総合計画で障害者グループホームを市内に6ヶ所開設する、という方針が示された。市が開設するのか。保健福祉部長 福祉法人に開設してもらうことを基本にしている。

問 障害者のグループホームは、国や府の方針を見ても、必要性は今後さらに高まるとされているが、現実は物件の改修費が高額になるなど、困難も多い。障害を持つ方々の将来の安心のため、グループホーム開設の補助金

障害者グループホームの補助金について

市長 ▼ 関係者の要望を聞いてみる

丹政会 松本 経一

が新設できないか。財源は他の補助金の見直しなどで確保できるはずだ。

市長 関係者の方々の声を聞き、どのような施策が望まれているのか、何が必要かを検討してみる。

問 バリヤーフリーの視点で、子供や高齢者、障害を持つ人も、安心して歩ける歩道整備に力を入れて欲しい。

市長 市道における歩道の整備率は2.5%であり、特に狭い道路でいかに歩道を確保するのか、という課題も多い。安心して歩ける町づくりということの重要性は認識している。

問 特に市街地においては、幅の狭い道路に「溝ブタ」の整備を積極的に進めてはどうか。地域からの要望も多いと思うが現状はどうか。

建設部長 地域からの要望は多く寄せられている。

市長 歩道の確保の上で有効だと思う。

運動施設無料開放デーについて

問 今年度実験的に運動施設の無料開放デーを実施された。課題と今後の方針はどうか。

教育長 初めての試みで500人ほどの参加があった。特にニユースポーツの振興に期待し、今後も続けたい。

問 成18年には導入する。多少の患者負担が増えるが、どのように考えているのか。

医療事業部長 病院の薬剤管理や人件費節約のメリットがある。多少の負担増があるが、メリット面が大きい。

問 市立病院独自の防災マニュアルを作成せよ。

医療事業部長 久美浜病院は作成しているが、弥栄病院はできていない。



運動施設の無料開放デーを



両市立病院の充実を...

問 地域福祉計画策定の目的と現状は。

市長 支え合い助け合いを目的とし、作成を進めている。

問 どのようなスタンスで意見を取上げているのか。

市長 アンケート調査・懇談会を実施している。

問 府の支援計画は策定できているが、各市町村の策定率が遅れている理由は。

保健福祉部長 意見の収集方法を重要視するため遅れている。

住民本意の地域福祉計画の策定を

市長 ▼ いろんな方法で意見を取上げていく

丹政会 原 久

問 現在、市立病院にタミフル錠はあるのか。

医療事業部長 大人56人、子供36人分ある。

問 高額薬剤だが、お年寄りや子供のため、市としての支援策は。

市長 国や府と連携し、できる限りのことはしていきたい。

問 市立病院の対応やベッドの確保はできるのか。

医療事業部長 二種感染症指定病院（与謝の海病院）で対応する。

問 市内市立病院でどうして同時に院外処方できなかったのか。

医療事業部長 弥栄病院は対応が遅れた。平

問 成18年には導入する。多少の患者負担が増えるが、どのように考えているのか。

医療事業部長 病院の薬剤管理や人件費節約のメリットがある。多少の負担増があるが、メリット面が大きい。

問 市立病院独自の防災マニュアルを作成せよ。

医療事業部長 久美浜病院は作成しているが、弥栄病院はできていない。

問 11月に滞納対策本部を設置して12月1日から10日まで特別徴収をされた。市長は本部長として陣頭指揮をとられたが、その成果と感想は。

市長 99人の管理職等を4班に分けて徴収

にあたり、109万円が徴収できた。産業振興など払いやすい環境整備を市政運営の中で考えなければならぬ。さらに強力な体制をつくり一層の努力をする。

問 府が中心となり府下全市町村で組織する整理回収機構の設置を、府・他の市町村へ積極的に働きかける考えは。

市長 府と協議を始めた。その効果も考えながら他の市町村と検討を進めたい。

問 差し押さえ物件として生命保険・損害保険の扱いは。

問 税の公平・公正の原則を踏まえて、生命保険・損害保険も滞納処分の対象物件として

考えるべきだと思うが、総務部長 税の公平性を考えると、当然、生命保険・損害保険も今後対象物件として考える必要がある。市民に対して十分に周知をしなければならぬ。

問 17年度決算において多額の不納欠損処分が見込まれる。情報公開と説明責任に對しての考えは。

市長 徴収にあたる本部の設置と府との連携も考えながら、機動的な体制づくりを進める。市民に対して丁寧に情報公開をし、説明もしながら納税意識の向上を図りたい。

滞った税金・料金

市長 ▼ 徴収に向けて懸命に着実な努力を

丹政会 石河 良一郎



税の徴収窓口

市が出資する第三セクターは 今後どうなる

市長 ▼ 指定管理者制度導入で
解散も念頭に検討中

丹政会
森口 亨

問 平成15年12月、総務省が改定した「第三セクターに関する指針」では「第三セクターに公の施設の管理を委託している場合は、指定管理者制度の導入を踏まえ、民間事業者の活用を積極的に検討

すること。」としているが、本市における既存の三セクはどのようなのか。

市長 指定管理者制度導入の方向で、最終的には解散ということも念頭において関係者との慎重に検討している。

問 三セクの従業員は、市長 雇用の継続・保障を公募条件とする方向で検討している。

問 先の指針において「法的整理の判断に当たっては、地域振興等の公共性、公益性といった行政判断を加味した上で、存続の必要性や事業手法の見直し、出資比率等関与のあり方などについて抜本的に検討する必要がある」としている。「くみはま県」については、旧

町議会がこの指針と同様の観点から判断したものと考えるが、今後、三セクをどの様に整理していくのか。

市長 指定管理者制度によって、市の施設がもっている課題を解決し、よりよい運営ができるよう検討したい。

問 具体的な被害状況や共済加入状況の詳細な調査を急ぐべきだ。市長 産地振興として経営安定のためにできることを検討したい。



図書館の充実を（峰山町）

学校図書費は独自の 予算項目で財源保証を 教育長 ▼ 難しいが研究したい

公明党
池部 皓三

問 「文字・活字文化振興法」が成立した。大きな特徴は、地域や学校の図書館の整備を進めることが盛り込まれたことである。

問 立の背景にある。文字や活字は人が意志・感情の伝達を図り、おたがいに理解を進める上で欠かせないことを考えると、国・自治体の創意工夫の取り組みを求め、同法の必要性が理解できる。

①地域の文化力の活性化推進のためにも、大宮・久美浜・丹後・弥栄の各図書室を、図書館として独立させることがぜひ必要である。

②小・中学校の図書購入費は「教材備品及び図書」として予算化されている。蔵書の充実には、図書費を別枠に、予算項目を設けて財源措置をする制度的保証が必要であると思

う。教育次長 日本語のみが理解できる。問 地域の文化力の活性化推進のためにも、大宮・久美浜・丹後・弥栄の各図書室を、図書館として独立させることがぜひ必要である。問 具体的な被害状況や共済加入状況の詳細な調査を急ぐべきだ。市長 産地振興として経営安定のためにできることを検討したい。

国の耐震化政策の 変化について

市長 ▼ 安全・安心の意義は大きい

公明党
松本 聖司

問 9月の中央防災会で、大規模地震は、一部地域の問題ではなく、全国いつどこで発生してもおかしくない

と、方向転換をした。阪神淡路大震災では、死亡の8割が建物の倒壊である。耐震化を全

国展開することになり、改正耐震改修促進法を成立させ、国の18年度予算に反映させることになったが見を伺う。

市長 改正法が成立し、国民に与える安全・安心の意義は大きい。同時に把握して何

が出来るか広域的に対応も必要であるので、模索していく。



隆起した郷村断層

請願・意見書

京丹後市のすべての子供たちに、ゆきとどいた教育を行なうため、30人学級、教育予算増額、教育条件整備、教育費父母負担の軽減等を求める請願書

30人学級の実現や教育予算の増額を求めるもの。

医療「改革」反対を求め、自己負担上限引き上げ、75歳以上の独立

チームティーチングなど、30人学級以上に教員が配置されている。請願はそぐわない。

税金の取り方で医療費はまかなえる。改革は不要。

今後は20年で国民医療費は30兆円増える。保険制度維持のため早急な改革が必要。

少人数学級は大きな効果があり、全国的な流れになっている。教育予算を増やすことが必要。

住宅の患者負担、保険免責制度などの医療制度改革法案に反対するもの。

法定受託事務に関する議決権の制限廃止など、地方分権時代の役割と責任を果たすため

に地方議会制度の改革を国に求めるもの。

増加、早期制定が必要。言論の自由など与党内でも異論ある。

引き続き第2期改革を進める事などを国に求めるもの。

厚生常任委員会視察報告

視察日：17.10.20～21

視察先：香川県観音寺市（三豊総合病院）
岡山県岡山市（岡山自閉症支援センター）

谷口 正博	松尾 信介
浅田 武夫	川浪 将義
川村 博茂	小牧 耕一
松田 成溪	松本 聖司

行政事務の取り組みについて

▼視察地

愛知県高浜市
高浜市総合サービス(株)

▼視察内容

愛知県の南西部にある高浜市は、人口3万8千人余りの工業都市である。三州瓦の産地として有名で、近年は自動車関連の製造業が発展している。



巧みな戦略として実現していた。
給与明細に時間単価を掲載するなどの職員の意識改革や、市の仕事を市職員より人件費コストの安い、高浜市総合サービス(株)に委託し、「日常的業務で、民間委託可能なものは民間に」という市長の断固たる方針の下、市の人件費を減らす取り組みがトップダウン方式で行なわれていた。

▼視察地

三重県地方税管理回収機構

▼視察内容

平成16年度に三重県内全市町村の税の滞納処理にあたる、一部事務組合として、県と共同して徴収の技術的、精神的なバックアップ機関として設置された。

市町村から処理困難な滞納事案を引き受け、徴収率・徴収額ともに目標以上を達成している。運営は独立採算制で出向職員が実務のノウハウを受けながら業務に就いている。

▼視察所見

税務行政の重要性を認識し、市町村等による一部事務組合設立など、効率的な体制も視野に入れ、市民の納税意識を高める行政努力と徴収を含めた税務事務能力を向上させる積極的かつ早急な対応が急務であることを痛感した。同時に、当然のことながら徴収にあたっては滞納者の生活実態もしっかり把握した上で対応すべきものと確認した。

総務常任委員会視察報告

視察日：17.11.8～9

視察先：愛知県高浜市(高浜市総合サービス株式会社)
三重県地方税管理回収機構

大下倉 禎介	松本 経一
池部 皓三	石河良一郎
井谷 實夫	平林智江美
原 久	

地域医療体制のあり方について

研修医制度による医師不足を発端に、市立病院の事業運営が悪化する中で、医療審議会等によりその対応策が検討されているが、市議会厚生常任委員会としても市立病院の活性化に向けた方策を調査・研究すべく先進地医療の実態を視察した。

▼視察地

香川県観音寺市
三豊総合病院

▼視察内容

三豊総合病院の1日平均外来患者は1,346人、一般病床の1日平均入院患者は496.3人で、病床利用率は96.4%。四百床以上持っている自治体病院における一般病床利用率の平均は、92.5%であることを考えると、経営状況が良好であることが容易に推測できる。

平成16年度決算は、

▼視察所見

現在5期目になる市長の、企業家の視点による効率的な行財政運営が、

か、市の技能労務的な仕事のほとんどを外注に出すことにより、4億円の経費の削減になつてい

本市においても、業務の外部民間委託は、経費削減はもとより、組織改革につながる有効な手段であり、起爆剤の効果も期待されると考える。

警察、国税局のOBや弁護士を組織内に迎え支援体制を確立している。



総収益109億9,300万円、総費用104億9,000万円で、純利益は5億300万円。

◇医師・看護師の確保策
院長、副院長をはじめ部長クラスの医師の中には、三豊病院で研修医を終えた後、この病院へ戻っている医師が何人もいるとのことである。

三豊病院では、医師が仕事をしやすいように、病院側が環境を整えているようだ。医師を確保する上で大切なのは、医師のしたいことをどんどんさせることにより、医師はやる気を出し集まってくる。

◇地域包括ケアシステム
「この地域の住民や患者が必要とするならば、

それに応えよう。国保病院というのは、私立病院と違い医療だけでなく保健・福祉も一体化して取り組まなければならない。公的病院でなければできないことがある」



平成6年に国保保健福祉総合施設「すこやか」を併設して、それまで行ってきた健康管理センターと訪問看護ステーションを収容、平成8年には歯科保健センターも設置されている。この総合施設を拠点に、地域医療部のスタッフが中心になって訪問診療・へき地診療・訪問看護・訪問リハビリや施設内外での各種健康教室を実施している。

また、平成8年には豊浜町老人保健施設が併設され業務委託を受け、平成10年には遠隔医療テレビ電話の導入や保健医療福祉の総合相談窓口を設置、翌年には居宅介護

また、三豊総合病院では受付、給食、駐車場管

▼視察所見

三豊総合病院の管理者は首長で、病院長は保健医療福祉管理者という位置づけになっているが、医療現場の雰囲気や環境がよくわかっていて病院長に、職員人事をはじめ職員給与、医師の確保の問題など全ての権限や責任を持つてもらう実質的に「公営企業法全部適用」に準じた病院経営をしている。本市の病院経営においては公営企業法全部摘要も一案である。

また、三豊総合病院で

理運営、院内保守管理、清掃作業など民間委託ができる分野は、全て民間に委託している。これらの委託業務は、当然競争入札で業者選定がされていると思っていたところ、競争入札だと談合が行われ、結果的に高くなることもあるという理由から全て随意契約で行われている。

現在、京丹後市においては、公平性・透明性の観点から競争入札が原則となっているが、どちらが市民にとってプラスになるのか他の自治体などの事例を参考に、よく検証してみると同時に、情報公開していくことが重要であると感じた。

なお、一部地域で合併前に導入（構築）されていた包括ケアシステムも、現在では機能しなくなっており、今後市内の丹後中央病院や丹後ふるさと病院との連携をとりながら、再構築に向けての対応が必要であると考

文教建設常任委員会

視察日：17.10.19～21
 視察先：山口県柳井市（ふるさとの道づくりについて）
 岡山県新見市（学校統廃合・水洗化率向上の取り組みについて）
 島根県出雲市（政策企画部と住民自治について）

吉浪 芳郎 今度 弘
 池田 惠一 早川 雅映
 松本 信之 森口 亨
 行待 実

年度	件数	原材料費 (万円)	機 重 借 上料 (万円)	計 (万円)	整備 延長 (m)
H6年	3	103	44	147	80
7	6	278	134	412	205
8	5	226	185	411	191
9	6	301	214	515	169
10	7	276	199	475	193
11	5	266	114	380	130
12	5	241	127	368	182
13	6	323	168	491	290
14	4	157	192	349	84
15	5	355	121	476	533
16	5	243	147	390	228
計	57	2,769	1,645	4,414	2,285

今までの実績（17.2.20 現在）

- ▼所見
- ①住民による市道整備に
井市長の考えを集約する
と
 - ②行財政改革の原点、行

「ふるさとの道整備事業」による整備
 については、財政の質的
 な改革と自負している。

「自治体の財政状況が
 厳しさを増す中、従来の
 殻を破った施策が必要で
 あり、市長自らが斬新な
 考えで新しい施策を打ち
 出している。職員も市長
 の考えを十分理解し、日

政経費の一律カットな
 どの量的改革ではなく、
 主権者の自治能力を呼
 び覚ます質的改革が必
 要と考えている。
 ③行革も地域づくり、使
 える地域資源を際限な
 く使い、生かすことだ
 と力説する。



常業務を積極的に推進す
 る。」こんな市政を学ぶ
 ことができた。
 本市にあっても、旧町
 時代、農道舗装、U字溝
 水路の敷設など、農家自
 らが工事を行った集落は
 整備を終えており、計画
 の遅れや順番待ちの集落
 はその実現を見ないまま
 現在に至っている。
 行政改革は市民の意識
 改革でもある。

地域協働と道路整備事業

▼概要

柳井市では、住民自ら
 が市道をつくる事業を
 10年前から市長の発案
 で実施しており、既に
 25路線、2285mの
 市道整備を終えている。
 「公道建設は行政が税
 金で業者に発注するのが
 当然」という従来の考え
 方を破ったことで、住民
 の意識が変わった。

道路拡幅に必要な用地
 については市民が寄付
 し、工事も地元住民が重
 機の操作を含めて行う。
 市はアスファルト・生コ
 ン・建設機械のリース料
 を負担する程度で、日常
 使用する市道が住民の手
 で拡幅・舗装されてい
 る。また、経費は公共事業
 の10分の1程度で済ん
 だ。

「なぜ市
 道を住民が整備しなくて
 はいけないのか。高齢者
 ばかりでなかなかできな
 い。」といった声もあつ
 たが、整備後は道路に対
 する愛着が深まり、ま
 た、地域の交流も深まっ
 た。

産業環境常任委員会視察報告

視察日：17.10.19～21
 視察先：愛媛県今治市（タオル工業の不況打開策）
 愛媛県松山市（環境対策と焼却場）
 愛媛県内子町（農産物直販の生産活動）
 兵庫県南あわじ市（地元農産物の加工）

高山 充男 大同 衛
 岡田 修 田茂井誠司郎
 中西 敏行 野村 重嘉
 森 勝

地場産業と農業の振興・活性化

タオル工業の不況打開策について

【愛媛県今治市】
 綿織物産地として発展
 し、タオルの生産高は、
 全国シェアの約6割を占
 め、日本一を誇っている
 が、構造的な不況で低迷し
 ている。



環境にやさしいごみ処理と焼却場について

振興策の一環として東
 京と群馬県太田市にアン
 テナショップを開いて消
 費者ニーズの把握に努
 め、新商品の開発等を図
 っている。
 当地域においても、国
 内外における丹後ちりめ
 んのブランド化を促進
 し、世界市場に打って出
 ることができるような国
 際的競争力を養う情報収
 集提供システムを構築す
 ること、また、通販シス
 テムの充実や観光とタイ
 アップしたちりめんツア
 ーなどを通して、全国す
 みずみの消費者と直結し
 た流通機構を確立するこ
 とが望まれる。

【愛媛県松山市】
 分別収集は、7種類
 （可燃、粗大、金物ガラ
 ス、紙類、プラスチック
 ク、埋立、水銀）に分け
 て行っており、さらに粗
 大ごみは、クリーンセン
 ター内に設置された破碎
 処理施設でさらに分別さ
 れて、再利用と最終処分
 場の延命化が図られてい
 る。
 クリーンセンターで



は、環境にやさしいごみ
 処理に努め、焼却熱を利用
 した発電、その電力の
 施設内利用、また、焼却
 灰を高熱の溶解によりガ
 ラス質の粉に処理して、
 市道の路盤材として活用
 している。
 本市のリサイクルは最
 新の設備と技術によって
 高い水準を目指している
 が、さらに効率的な分別
 収集のあり方や環境保
 全・再資源化の拠点とし
 てより高度の機能を有す
 るクリーンセンターの整
 備について検討を要す
 る。

【愛媛県内子町】
 平成8年、農産物直売
 所「フレッシュパークか
 らり」が開業した。
 消費者と生産者が常設
 の販売施設を通して顔の
 見える関係をつくり上げ
 て、農業経営の充実と後
 継者育成を目指すもので
 ある。
 他市町と同じことをし
 ていては消費者をつかめ
 ないので、町内で生産さ
 れる農産物・農産加工品
 のみを扱うことにより、
 イメージアップを図って
 いる。客層は、地元以外
 が9割を占め、全体の5
 ～7割が常連客である。
 本市においても、農産
 物直売所の設置につい
 て、販売の場としてだけ
 でなく、農業者の意識改
 革と販売システムの構築
 を図りながらブランドづ
 くりの場としての機能も
 持つ取り組みが求められ
 る。

農産物直売による生産活動の促進について

【兵庫県南あわじ市】
 恵まれた気候や高度な
 生産技術を生かして同じ
 土地で年3回農作物を栽
 培する三毛作が営まれて
 いる。
 作付けの主なものは玉
 ねぎ、レタス、白菜、キ
 ヤベツなどで、京阪神に
 即日出荷されているが、
 近年はカットや加工調理
 をして付加価値をつけた
 農産加工品が増加してき
 ている。
 本市における新たな展
 望として、京阪神との高
 速道路網の整備が進む中
 で、生鮮野菜等の食材供
 給基地化を進めるとも
 に、新鮮な食材を生かし
 た農産加工、観光との連
 携、生産活動と直結した
 「ファーマーズ・マーケッ
 ト」など多角的な視点か
 らの農業振興策に取り組
 むことを切望する。

地元農産物を生かす農産加工について

チャレンジ！京丹後

「地元の宝に光を当てて」 周枳主基塾（大宮町周枳）

高齢者が増える中、6年前、大宮町周枳地区で「自分たちの地域は自分たちで活性化させていこう」と、地元有志30人が立ち上った。

「地元の宝に光を当て、楽しく元氣あふれる周枳にする」「周枳が好きの人を増やし、明日の周枳を担う人を育てる」とを目的に「周枳主基塾」を結成し、さまざまなふるさとづくり、人づくりにチャレンジされてい

木積山展望公園構想
まず初めに、地元の木積山に安心して登れるよう、登山道や展望公園の整備を、大人約30人で行った。ここはかつて木積砦があったとされる場所で、大宮町を広く見渡すことができ、町づくりに取り

組む「意識のきつかけづくりの場」になった。山を愛し、森林浴を楽しみながら木積山登りができるようになり、区民を初め子どもたち



周枳雅楽の復活
大宮売神社では、60年ほど前まで雅楽が奉納されていたが、戦後の混乱などにより途絶えていた。区民からの「周枳雅楽を復活させて・・・」という声を聞き、塾生を中心に取り組んで、

平成12年の元旦から復活させた。凛とした空気に漂う雅楽の音色に参拝客は耳を傾け、また地元の人も毎年楽しみにされている。

そば作り
近年増えている休耕地を何かに利用できないものかと考えて、子供たちと一緒にそばの栽培を始めた。子供たちは「種の形がおもしろかった。」「おいしいそばが食べられるのが楽しみ」と収穫を心待ちにしながら種まきをしていた。

収穫したそばで手打ちそばを作り、大宮売神社の参詣者に年越しそばを振る舞っている。



また、小学校で「そば教室」を開いた。子供たちは粉だらけになりながら「なかなかのびない」「太くなってしまう」と言いながら取り組んでいた。

地酒づくり（※）
周枳には、大嘗祭（たいじょうさい）への献上米が作られていた主基田（周枳）の名前の由来となった）やおいしい水、また大宮売神社に祀られている酒づくりの神「造酒司」など、酒に関係する財産があることから、酒づくりにも取り組んでいる。

田植え・稲刈りと、米づくりから取り組んでいる。名前やラベルのデザインは区民から公募し、農家・蔵元・販売店と協議を重ねてようやく吟醸生原酒「木積の雫」が完成した。

出来上がったお酒は、大宮売神社に献上し、

年始のおとそとして振る舞われている。



このように、周枳主基塾では結成以降様々な活動をされてきました。これからも「地元の宝に光を当てて、楽しく元氣あふれる周枳にする」取り組み、子供から大人まで「周枳に住んで良かった」「周枳はえーとこだなあ」と思えるような地域づくりへのチャレンジが続きます。

※大嘗祭：天皇が即位後、初めて新穀を天照大神および天神地祇に供え自らも食する、一代一度の新嘗（いなめ）の祭事

あとがき

師走から降り続いた大雪は、京丹後市にも甚大な被害をもたらしています。長い冬が予想されるなか、被害の拡大が心配です。この「まほろば」が皆様のお手元に届く頃には、穏やかな愛に満ちた年であることを願っています。

さて、12月定例会で「京丹後市総合計画」を承認しました。本格的に行財政改革が動き出す中、4月からは「組織機構の見直し」や「職員の削減計画（5カ年で230人削減）」も動きだします。本庁所在地に行政機能が集中し、周辺部との格差が懸念されますが、広域化する行政の中で、「地域自治」の芽が育つてゆく年にしたいと考えています。

議会広報編集委員会
委員長 野村 重嘉
副委員長 松田 成溪
委員 川浪 将義
" " 小牧 耕一
" " 大同 聖衛
" " 松本 2人
（会派の解散に伴い、減りました）